

# 政策評価の取組状況

## 文部科学省説明資料

平成19年3月23日

# 文部科学省における 政策評価の取組について

平成19年3月

文部科学省大臣官房政策課評価室

# 文部科学省政策評価基本計画の概要

## 1. 計画期間

3年間(平成17～19年度)

## 2. 政策評価の観点

必要性、有効性、効率性、公平性、優先性

## 3. 政策効果の把握

できる限り政策効果を定量的に把握することができる手法を用いるものとし、これが困難である場合においては、政策効果を定性的に把握する手法を用いる。

## 4. 学識経験者を有する者の知見の活用

学識経験者等を構成員とする「政策評価に関する有識者会議」を開催

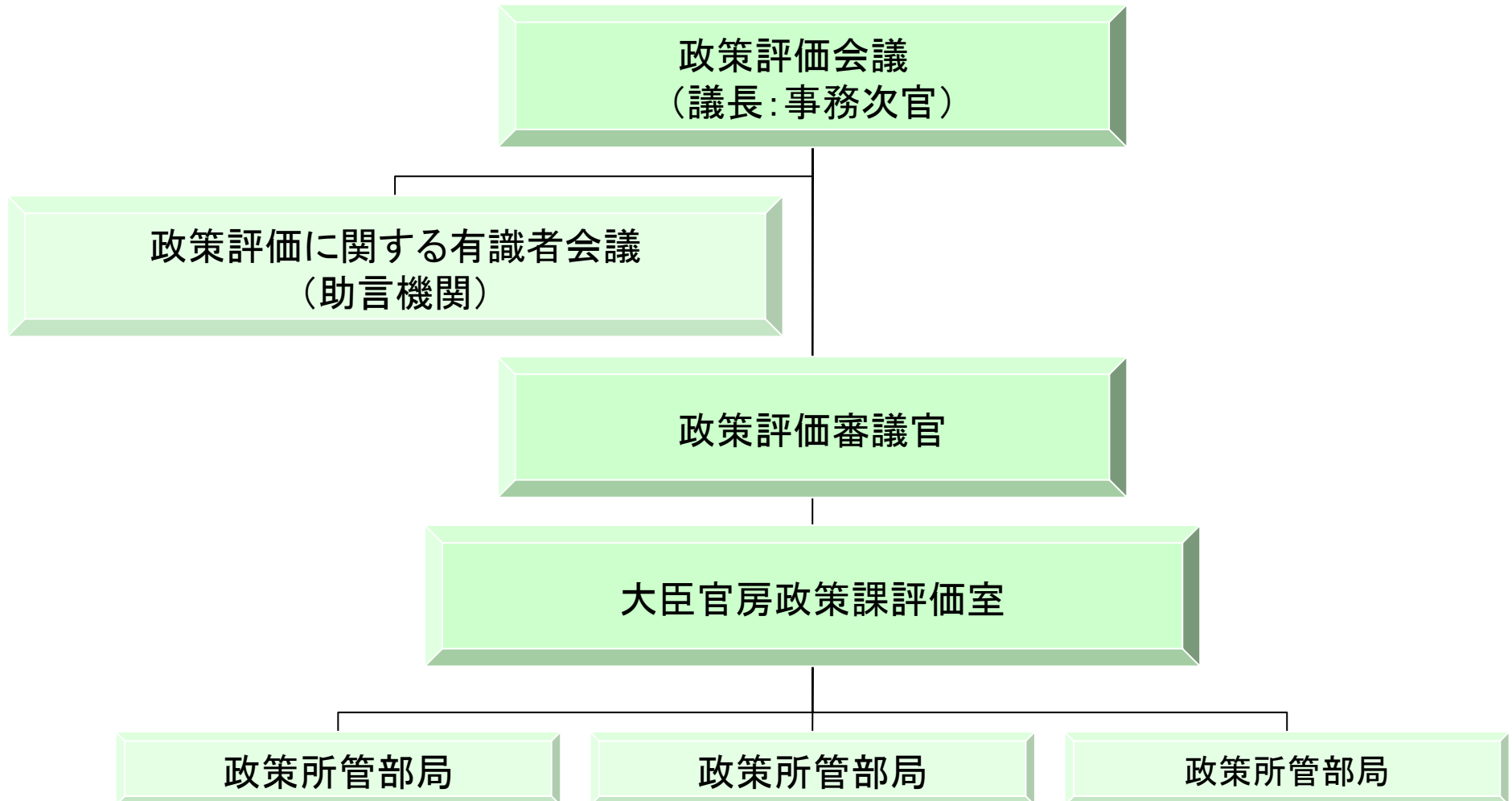
## 5. 政策評価の結果の政策への反映

政策の企画立案作業(予算要求(定員等を含む)、法令等による制度の新設・改廃等)における重要な情報として活用され、適切に反映。

## 6. 政策評価に関する情報の公表

インターネットのホームページへの掲載のほか、プレスリリース等を活用

# 文部科学省の政策評価の実施体制



# 政策評価の3方式の活用

## 1. 実績評価方式(事後評価)

対象政策 : 「文部科学省の使命と政策目標」の実現に向けて、前年度に取り組んだ施策を対象。

## 2. 事業評価方式(事前評価)

対象政策 : 次年度予算において新規あるいは拡充を予定している事業のうち、社会的影響または予算規模の大きいものを対象。  
(予算主要事項に記載するものは必ず事前評価を実施)

## 3. 総合評価方式(事後評価)

対象政策 : 実施計画において定める。

**3つの政策評価の方式を相互に連携させ、有機的に機能させていくことが重要**

実績評価を行った結果、機動的に対応すべき事項・課題が抽出されれば、速やかに事務事業として具体化するための事業評価を行うとともに、より精緻な分析を要する問題が抽出された場合は、総合評価を行うことにより、問題点の所在と原因の特定を行う。

# 文部科学省の使命と政策目標

## 文部科学省の使命

教育、科学技術・学術、文化、スポーツの振興を未来への先行投資と位置づけ、これを通じ、「人材・教育・文化大国」と「科学技術創造立国」を実現する。

### 政策目標1 生涯学習社会の実現

生涯にわたって学ぶ機会が提供され、学んだ成果が適切に評価される社会を実現する。

- 施策目標1-1 生涯を通じた学習機会の拡大
- 施策目標1-2 地域の教育力の向上
- 施策目標1-3 家庭の教育力の向上
- 施策目標1-4 自立し挑戦する若者の育成
- 施策目標1-5 ITに関連する教育・学習の振興とITを活用した教育・学習の振興

### 政策目標2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり

子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに信頼される学校づくりを進める。

- 施策目標2-1 確かな学力の育成
- 施策目標2-2 豊かな心の育成
- 施策目標2-3 児童生徒の問題行動等への適切な対応
- 施策目標2-4 青少年の健全育成
- 施策目標2-5 健やかな体の育成
- 施策目標2-6 地域住民に開かれた信頼される学校づくり
- 施策目標2-7 魅力ある優れた教員の養成・確保
- 施策目標2-8 安全・安心で豊かな学校施設・設備の整備推進

### 政策目標3 個性が輝く高等教育の推進と私学の振興

「知識基盤社会」において、我が国が活力ある発展を続けていくために、高等教育を時代の牽引役として社会の負託に十分応えるものへと変革する一方、社会の側がこれを積極的に支援するという双方向の関係を構築する。

- 施策目標3-1 大学などにおける教育研究の質の向上
- 施策目標3-2 大学などにおける教育研究基盤の整備
- 施策目標3-3 意欲ある学生への支援体制の整備
- 施策目標3-4 特色ある教育研究を展開する私立学校の振興

### 政策目標4 科学技術の戦略的重点化

未来を切り拓く質の高い基礎研究を推進するとともに、国家的・社会的課題に対応する研究開発の重点化した推進と新興領域・融合領域への先見性、機動性をもった対応を実現する。

- 施策目標4-1 基礎研究の推進
- 施策目標4-2 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進
- 施策目標4-3 情報通信分野の研究開発の重点的推進
- 施策目標4-4 環境分野の研究開発の重点的推進
- 施策目標4-5 ナノテクノロジー・材料分野の研究開発の重点的推進
- 施策目標4-6 原子力分野の研究・開発・利用の推進
- 施策目標4-7 宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進
- 施策目標4-8 海洋分野の研究開発の推進

- 施策目標4-9 新興領域・融合領域の研究開発の推進
- 施策目標4-10 安全・安心な社会の構築に資する科学技術の推進

### 政策目標5 科学技術システム改革の推進

世界水準の優れた研究開発成果を生み出し、その成果を社会へ還元するための仕組みを構築するとともに、そのための基盤の整備・充実を図る。

- 施策目標5-1 科学技術関係人材の育成、確保、活躍の促進
- 施策目標5-2 科学の発展と絶えざるイノベーションの創出
- 施策目標5-3 科学技術振興のための基盤の強化
- 施策目標5-4 科学技術関係の国際活動の戦略的推進

### 政策目標6 社会・国民に支持される科学技術の推進

科学技術が及ぼす倫理的・法的・社会的課題への取組や科学技術の国民意識の醸成に向けた取組により、科学技術に対する社会・国民の支持や信頼の獲得を図る。

- 施策目標6-1 科学技術が及ぼす倫理的・法的・社会的課題への責任ある取組の推進
- 施策目標6-2 科学技術に関する国民意識の醸成
- 施策目標6-3 原子力の安全及び平和利用の確保

### 政策目標7 スポーツの振興

生涯スポーツ社会の実現に向けて地域におけるスポーツ環境を確保するとともに、わが国の国際競技力を向上させ、子どもから大人まで心身ともに健全な社会を実現する。

- 施策目標7-1 生涯スポーツ社会の実現
- 施策目標7-2 我が国の国際競技力の向上
- 施策目標7-3 学校体育の充実

### 政策目標8 文化による心豊かな社会の実現

優れた芸術文化の振興を図るとともに、我が国固有の伝統文化を継承・発展させることにより、文化による心豊かな社会を実現する。

- 施策目標8-1 芸術文化活動の振興
- 施策目標8-2 文化財の次世代への継承・発展
- 施策目標8-3 文化振興のための基盤整備
- 施策目標8-4 国際文化交流の推進による芸術文化水準の向上、文化を通じた国際貢献、諸外国との相互理解の増進

### 政策目標9 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進

人づくりなどに資する国際交流・協力の推進を通じて豊かな国際社会の構築の一翼を担う。

- 施策目標9-1 日本人の心に見える国際協力の推進
- 施策目標9-2 諸外国との人材交流の推進
- 施策目標9-3 大学等による国際協力活動及び国際協力に携わる人材の育成・確保

# 重要政策に関する評価について

## ○ 平成19年度以降の計画における重要政策に関する評価の実施予定

- ⇒ 「文部科学省の使命と政策目標」に掲げる施策について、実績評価を実施予定。
- ⇒ 社会的影響の大きい政策について、事業評価方式による事前評価を実施予定。

## ○ 評価対象政策の選定プロセスについて

- ⇒ 次年度の政策評価実施計画を策定する際には、「政策評価に関する有識者会議」において評価対象の選定も含め、学識経験者から意見を聴取している。
- ⇒ また、政策評価会議（議長：事務次官）において、実施計画の内容を審議し、最終的には大臣が決定するプロセスを経ている。

# 重要政策に関する評価について

(評価実施例)

第162回国会における小泉内閣総理大臣施政方針演説(平成17年1月21日)

○ 明るく健やかな生活に欠かすことのできないスポーツの振興を図るため、トップレベルのスポーツ選手を育成するとともに、生涯を通じてスポーツに親しめる環境を整備します。

⇒ 「実績評価－平成16年度実績－」において評価を実施(平成17年8月)

- 施策目標7-1 生涯スポーツ社会の実現 (総合型地域スポーツクラブの普及度合い 等)
- 施策目標7-2 我が国の国際競技力の向上 (オリンピックでのメダル獲得率 等)

⇒ 「総合評価－国際競技力向上施策の効果に関する評価について－」において評価を実施  
(平成18年3月)

評価結果を踏まえ、**スポーツ振興基本計画の見直し(平成18年9月)に反映**

- ・ 一貫指導システムの早期構築
- ・ ナショナルトレーニングセンターの整備推進 等

⇒ 「事業評価－平成19年度新規・拡充事業等－」において評価を実施(平成18年8月)  
-「ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設高機能化事業」



# 政策評価とマネジメント・サイクル

厳格な評価に基づく、効率的・効果的な政策の実現

## **D**O(実行)

- 法令や基本計画等に沿って、事務事業等を実施

## **C**HECK(評価)

- 政策評価法に基づく政策評価の実施
  - －実績評価  
(施策の達成度合いを把握)
  - －事業評価  
(成果目標の明確化(数値化))
  - －総合評価  
(特定のテーマを多角的に分析)

## **P**LAN(企画・立案)

- 各種基本計画等の策定
- 予算概算要求
- 法令案の策定 等

## **A**CTION(改善)

- 評価結果を政策の企画・立案(基本計画策定、概算要求、法令案等)へ反映

- ・評価結果の分析
- ・目標の見直し
- ・評価結果の公表等